

# 「市民みんなでサービスチェック」を開催します

☎ 財政課財政係 ☎ 72-2111 内線 232

1

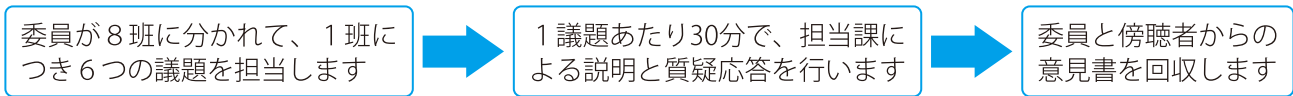
市民と行政が一体となり「つながるまち 小郡」の実現に向けて、市が実施する事業や例規など、そのあり方をチェックするため、「市民みんなでサービスチェック」と題して、市民会議を開催します。

会議は、公募で決められた市民の代表者や有識者などで構成された委員により進められ、全48の議題を話し合います。誰でも自由に傍聴でき、意見書を提出することができます。(ただし、傍聴者は質疑や討論に参加できません)この機会に、市政について考えてみませんか。

**日時** 12月3日(日) / 午後2時30分～6時30分

**会場** あすてらす1階多目的ホール

**会議の進め方**



## 議題(全48)

<p><b>1、実施計画に掲げる主要な事業と新規事業</b></p> <p>①体育協会法人化支援事業 ②在宅医療・介護連携支援事業・認知症総合支援事業          ③開発指定区域・立地適正化計画策定業務 ④庁舎建設基金積立事業 ⑤移住・定住促進事業          ⑥産後ケア・産後うつ対応と子どもの発達等相談・支援事業          ⑦学校給食調理業務委託と学校給食センター更新事業 ⑧私立認定こども園新設支援事業</p>
<p><b>2、課題が見られる継続事業</b></p> <p>①協働のまちづくりセカンドステージ(共働)推進事業 ②校区公民館の進化・発展・活用事業          ③保育士人材確保対策事業 ④学校施設を活用した学童保育事業 ⑤市民音楽祭          ⑥三国幼稚園と小郡幼稚園のあり方とその対応 ⑦ふるさと納税と観光協会の振興・発展事業          ⑧住宅用太陽光発電システム設置運営交付事業</p>
<p><b>3、公共施設長期整備計画に掲げる投資的事業</b></p> <p>①横隈山古墳公園整備事業・埋蔵文化財調査センター大規模改修事業 ②校区公民館増改築・新設・改修事業          ③生涯学習センター・文化会館等改修・更新事業 ④学校施設改修等事業 ⑤公園整備・道路整備事業          ⑥市営住宅整備事業 ⑦ため池・河川・用水路整備事業 ⑧総合体育館建設事業</p>
<p><b>4、施策評価の総合評価において検証が必要と指摘された事業</b></p> <p>①施策評価の中で「つながるまち 小郡」アクションプランの進捗管理・評価の見直し          ②コミュニティバスを公共施設巡りから生活支援を目的とする運行に見直し          ③防犯カメラ設置事業を民間企業の取組を活用          ④自主避難を含む避難所運営のあり方と災害時備蓄事業のあり方を見直し          ⑤「ふくおか電子自治体共同運営協議会」事業の活用とあり方を見直し          ⑥空き家対策事業と空き家バンク事業の積極的な対応への見直し          ⑦パブリシティと広報紙特集、SNSによる情報提供の発信方法を見直し          ⑧職員研修と民間経営理念を取り入れた財政計画策定事務などの見直し</p>
<p><b>5、市民生活に密着する小郡市が単独に制定した条例、規則、要綱など各種制度</b></p> <p>①市立中学校の通学区域弾力化制度実施要綱 ②市立学校施設開放規則          ③市パブリック・コメント制度実施要綱 ④市総合振興計画に関する規則          ⑤市ふれあい安心コール事業実施要綱 ⑥市敬老祝金支給規則          ⑦市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱 ⑧市家庭児童相談室設置運営規則</p>
<p><b>6、その他市長が市民などによる検証が必要と判断した事業</b></p> <p>①「つながるまち 小郡」アクションプラン策定・推進事業 ②「市民みんなでサービスチェック」事業          ③「食と農の複合施設」設置事業 ④高齢者インフルエンザ予防接種事業 ⑤本部町との「友好のまち」締結事業          ⑥小郡ブランド青大豆「キヨモドリ」栽培・育成推進事業と七夕の里活性化事業          ⑦ふれあい運動会・成人式祝賀駅伝大会 ⑧審議会委員などの女性登用率40%達成目標仕組みづくり事業</p>

## 老人健康者表彰を行いました

問国保年金課医療・年金係 ☎72-2111内線423

高齢者の医療費は毎年増え続けており、平成27年度の福岡県の後期高齢者医療費は、約7,405億円、小郡市の被保険者1人当たりの医療費(平均)は、約111万円となっています。

このような状況の中、小郡市は、後期高齢者医療保険と介護保険どちらの給付も受けていない高齢者を表彰しています。今年は107人を表彰し、表彰状と記念品を贈呈しました。

### 各校区ごとの表彰者数

(対象期間：平成28年4月～平成29年3月、単位：人)

校 区	男	女	計
小 郡	16	14	30
大 原	6	10	16
東 野	1	7	8
三 国	6	26	32
のぞみが丘	1	1	2
立 石	5	4	9
御 原	3	2	5
味 坂	2	3	5
計	40	67	107



1年間「無受診」を実現することは難しいかもしれませんが、毎年、健康診査を受診し、かかりつけ医に相談するなど、常に自分の健康状態を把握し、慢性的な病気にならないよう、早期発見、早期治療に努めることが大切です。

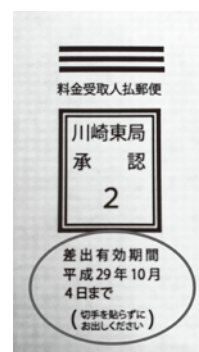


## マイナンバーカードの申請をお考えの人へ

問市民課市民係 ☎72-2111内線414

「通知カード」に同封して発送されたマイナンバーカード(個人番号カード)交付申請書用封筒は、差出有効期限が平成29年10月4日までとなっている場合でも、そのまま使用できます。

また、封筒が手元に無い場合は、様式をマイナンバーカード総合サイトのホームページ([www.kojinbango-card.go.jp](http://www.kojinbango-card.go.jp))からダウンロードできます。



## 農地の権利取得の下限面積を決定しました

問農業委員会事務局 ☎72-2111内線632

10月に開催された小郡市農業委員会総会で、農地の権利取得(所有権・賃貸借など)の下限面積を、農地法で定める基準のとおり「50アール」に決定しました。

下限面積とは、農地法第3条の許可要件の1つです。農地の権利を取得しようとする場合、取得しようとする農地を含め、耕作する農地の面積が50アール以上必要となります。

### 農地パトロールを実施しました

9月27日～29日に、市内全域の農地パトロールを実施し、耕作放棄地の確認を行いました。

この調査は、優良農地の確保のため全国一斉に行われます。耕作放棄地発生の原因はさまざまですが、高齢化による担い手不足や未相続による地主不在など難しい問題があります。

いったん放棄地になると雑草が生い茂り、周辺の農地に変な迷惑となります。農業委員会では、耕作放棄地の未然防止や改善、指導を行っています。

